※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０００１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本と世界の文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分の文化的属性を考える。
・日本の文化の源流を学ぶとともに、和食など世界へ広まった多様な日本の文化を知る。
・世界各地の文化から年度ごとにテーマを設定し、調べ学習や模擬授業の取り組みを通じて「世界」についての理解を深めると同時に、調べたことを発信するプレゼンテーションスキルを身につける。
・世界のさまざまな文化を学ぶことで、国際社会と呼ばれる現代世界を多角的に理解できる力を育む。
・さまざまな文化的背景を持つ人々とともに生きていく力を身につける。

２　学習の到達目標

(1)日本及び世界の地域的特色と文化およびその背景を理解し、必要な情報を調べて効果的にまとめる力を身につける。
(2)各国や地域の文化を横断的・縦断的に関連させ、多面的・多角的に考察をして表現する。
(3)自身の文化的属性を俯瞰することで、自国だけでなく他国の文化を理解・尊重できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域的特色と日本及び世界の文化とその背景に関する理解をするとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけられるようにする。	文化が育まれた歴史的・地理的条件や、文化の相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	文化に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本及び他国を尊重する精神を育む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の文化	・日本の地理的特徴(地形・気候)や宗教・行事などを踏まえた各地の文化 ・世界から見た日本の文化の特徴。	a:海外の視点も踏まえたうえで、日本の文化の特徴や内容を理解している。 b:文化の相互の関係性やその背景を考察したり、議論したりする。 c:日本の文化に対する理解を深めようと課題に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 小テスト	振り返りシート
	世界の文化	・世界各地の地理的特徴(地形・気候)や宗教・行事などを踏まえた、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、北アメリカ、南アメリカの代表的な文化	a: 代表的な地域の文化の特徴や内容を理解している。 b: 文化の相互の関係性やその背景を考察したり、議論したりする。 c: 代表的な地域の文化の特徴や内容の理解を深めようと課題に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 小テスト	振り返りシート
後期	調べ学習	・各自で国や地域、テーマを決め、その文化の特徴と課題、共生する方法についてまとめる。	a:必要な情報を検索し、その内容を理解している。 b: 調べた内容について条件を踏まえて、まとめることができている。 c: 日本や世界の文化について理解しようと課題に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート
	発表	・まとめた内容について、プレゼンテーションや板書を用いて、発表を行う。 ・生徒相互で評価を行う。	a:プレゼンテーションの内容を理解している。 b: 調べた内容を聞き手に伝わるように発表できている。 c: 異なる文化を持つ人々が共に生きるためにはどうすればよいかを考えて、課題に取り組んでいる。	プレゼンテーション 振り返りシート	プレゼンテーション 振り返りシート	プレゼンテーション 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度